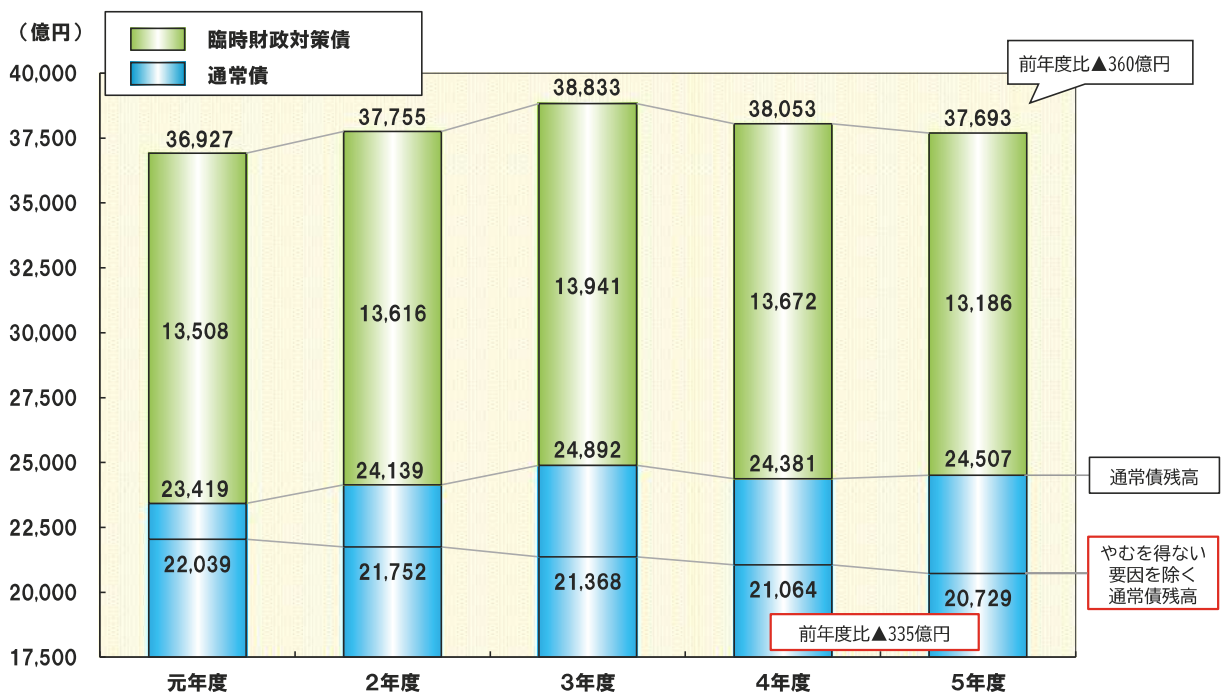


県債残高の状況

○ 地方交付税の振替財源である臨時財政対策債の発行額の減少等により、令和5年度末の県債残高は前年度末と比較して360億円減少しました。また、豪雨災害の復旧・復興対策などのやむを得ない要因を除いた通常債残高は、前年度末と比較して335億円減少しました。

【参考】 ○やむを得ない要因…災害復旧・復興対策、国の防災・減災、国土強靱化への対応、国の補正予算対応、減収補填債発行、コロナ感染症対策

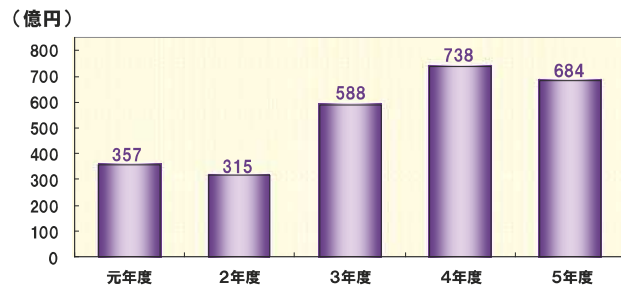
○令和5年度の県民一人当たりでみた場合の県債残高は73万8千円。
全国比較が可能な令和4年度では低い方から15番目。



財政調整基金等三基金残高の状況

財政調整基金等三基金

財政調整基金、減債基金及び公共施設整備基金からなり、年度間の財源の不均衡を調整する際などに取崩しを行います。



○ 財政調整基金等三基金の残高は、「出産・子育て安心基金」設置のための財源として100億円を取り崩した一方で、財政改革プラン2022に基づく改革措置を着実に実行し、684億円を確保しました。

